

## 前立腺悪性腫瘍手術の臨床的検討

### 1. 研究の対象

2012年以降に、前立腺癌に対して前立腺悪性腫瘍手術を行った患者さんを対象とします。

### 2. 研究目的

前立腺悪性腫瘍手術は限局性前立腺癌に対する標準的治療のひとつです。当院では、従来開腹手術で行っていましたが、2019年2月にロボット支援（腹腔鏡下）手術（RARP）が導入されました。開腹手術とRARPの治療成績を主として周術期を中心に比較検討します。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

腫瘍組織型、PSAなど血液画像検査結果、手術時のデータ、合併症、治療経過、その後の経過、等。

なお、この研究は学会あるいは論文として発表される予定があります。研究については当院倫理委員会の承認を得ています。

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

京都第一赤十字病院 泌尿器科

三神 一哉